

新型コロナウイルスの検査とは？



検査はとても簡単！
短時間で結果がでる検査もあります

検査の材料を採取します

鼻から綿棒で採取する場合



唾液を採取する場合
(一部の検査のみ)



検査が行われます

抗原*検査

新型コロナウイルスの抗原を検出する検査です。数分～十数分で実施できます。
*抗原：外から体に入り、体に免疫反応を起こす物質

核酸*検出検査

(PCR検査等)

新型コロナウイルスの核酸を検出する高感度の検査です。
*核酸：遺伝子を構成する物質

検査結果と診断結果から医師が総合的に確定診断をします

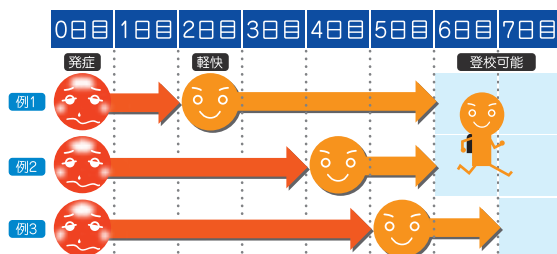
感染した時、学校などは何日間お休みすればいいの？



出席停止期間

*学校保健安全法施行規則改正：令和5年4月28日

出席停止期間は法令*で「新型コロナウイルス感染症にあっては、発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで」と目安が定められています。詳しくは医師に相談してください。



病院・医院名



監修

川崎医科大学

教授 大石 智洋 先生

製作

株式会社 ミズホメディー

SARS-COV-2 新型コロナウイルス

～感染時の過ごし方や人にうつさない対処～



MIZUHO MEDY Co., Ltd.

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) ってどんな病気?

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2 (SARS-CoV-2) というウイルスに感染して起こる急性呼吸器感染症です。感染初期は風邪やインフルエンザに似た症状が出る事が多いです。また、感染しても無症状の場合もあります。



! 重症化すると、肺炎、急性呼吸窮迫症候群 (ARDS)、多臓器不全等になる場合があります。また、合併症として、小児多系統炎症性症候群 (MIS-C/PIMS)、不整脈、急性心障害、血栓塞栓症、小児で稀に脳症等を起こす場合があります。

こんな症状が出た時は要注意!!

- 呼吸する時に「ゼーゼー」「ヒューヒュー」のような音が鳴る: 喘鳴 (ぜんめい)
- 呼吸がいつもより浅く速い、息苦しそう
- 痙攣 (けいれん) している
- 意識がはっきりしない
- 顔色が悪い、唇が紫色になっている
- ぐったりしている
- 嘔吐や下痢をくり返している
- 食事や水分を摂取できない

1つでも当てはまる場合や、何かおかしいと思った時はかかりつけの医療機関、こども医療でんわ相談 (全国同一の短縮番号 #8000 をプッシュ) 等に連絡して相談してください。

感染した時はどうすればいいの?

下記のようなことに気をつけてください

医師のアドバイスに従いましょう 	十分に水分を摂りましょう 	安静にして休養を取りましょう
---------------------	------------------	--------------------

感染を防ぐには?

下記のようなことに気をつけてください

マスクを着用しましょう 	石鹸で手を洗いましょう
-----------------	-----------------

治療薬はあるの?

基本となるのは経過観察・対症療法です

重症化リスクが高い方については症状の進行状況を考慮して抗ウイルス薬 (ウイルスの増殖を阻害・抑制するお薬) が投与されることがあります。

経口薬 ・モルヌピラビル ・ニルマトレルビル/リトナビル ・エンシトレルビル 	点滴静注 ・レムデシビル
--	----------------------------

その他、重症例では症状等に合わせて「免疫抑制・調整剤」「抗凝固薬」「中和抗体薬」等が投与されることもあります。

ワクチンについて
 新型コロナウイルスのワクチンは、新型コロナウイルス感染症の重症化を防ぐことができます (高齢者では期間によって補助が受けられる場合があります)。

症状が何か月間も続くことはありますか?

年齢を問わず一部の患者様において、罹患後症状 (いわゆる後遺症) が長期間続くことがあります

新型コロナウイルス感染症にかかった後、他に原因となる病気がないにもかかわらず、様々な症状が2か月以上持続することがあります。

下記のような症状が長期間続いている場合は、医師にご相談ください。

<罹患後症状の例>
 疲労感・倦怠感、関節痛、筋肉痛、咳、喀痰、息切れ、胸痛、脱毛、記憶障害、集中力低下、頭痛、抑うつ、嗅覚障害、味覚障害、動悸、下痢、腹痛、睡眠障害、筋力低下 等



変異とは何ですか?

変異とは、ウイルスが増殖を繰り返す中で起こる遺伝子情報の変化のことです

新型コロナウイルスは、様々な変異を起こした変異株 (例: オミクロン株など) が発生しています。一つの変異株の中にも小規模の変異を起こした様々な系統が発生し、次から次へと入れ替わるように感染流行を起こすことがあります。(下図参照)

変異によって、重症化のしやすさやお薬の効きやすさ等も変化することがあり、一度感染した後も再び感染することがあります。

